



【内房 広域都市圏】

都市計画の定期見直し (広域都市計画マスタープランの策定)

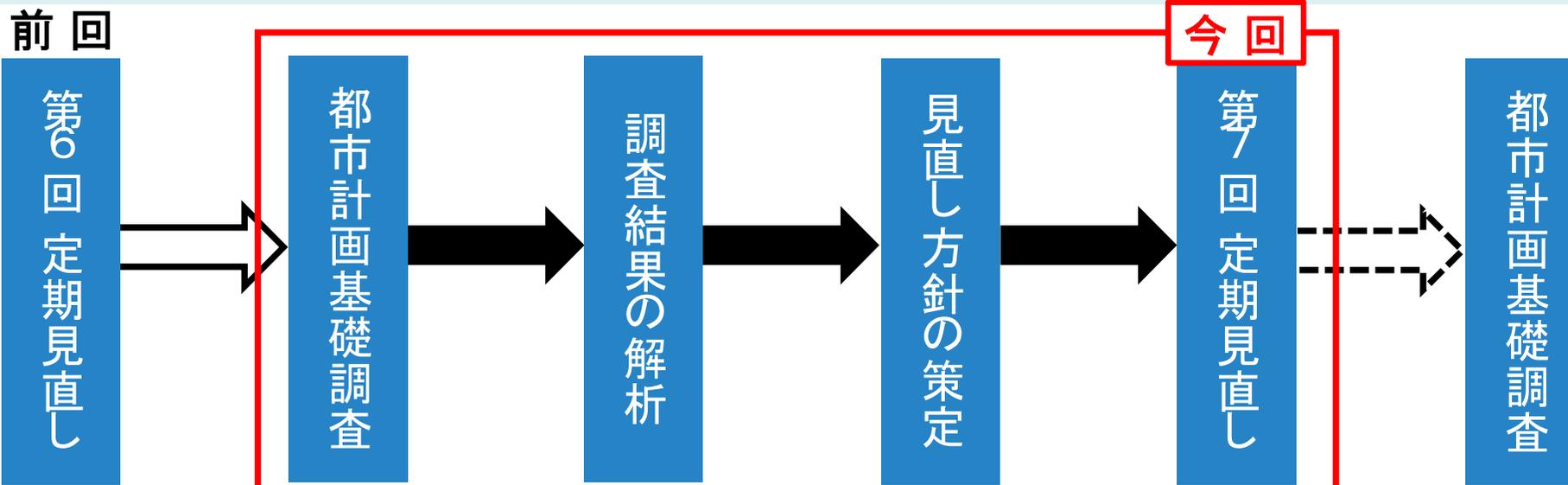


都市計画の定期見直し

都市計画見直しの趣旨

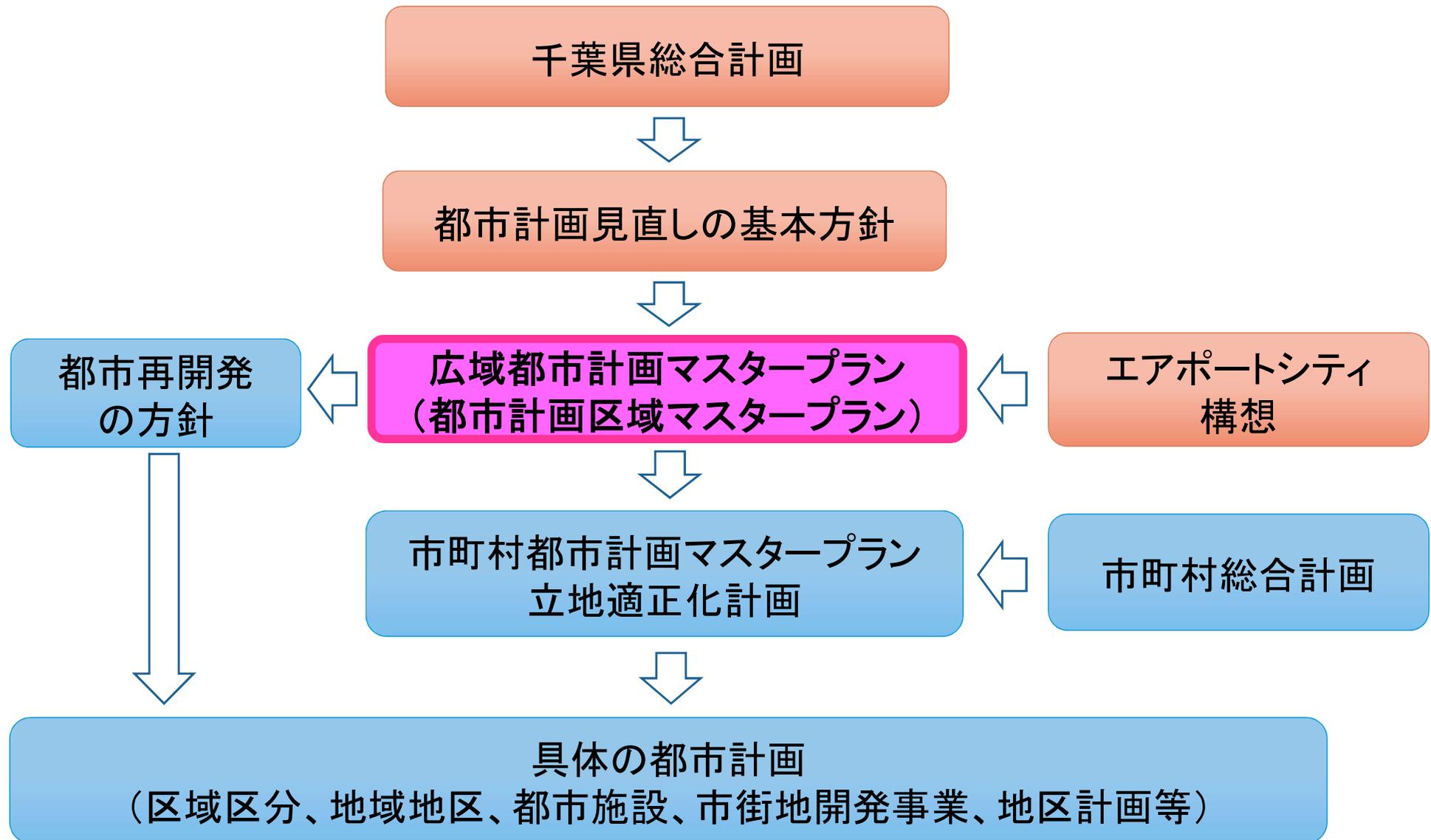
都市計画は社会経済情勢の変化に適切に対応するため、概ね5年毎に実施される都市計画基礎調査等の結果に基づき、定期的な見直しを実施しています。

千葉県では、令和3年に行った都市計画基礎調査等から人口減少、自然災害の頻発化・激甚化や広域的な社会インフラの充実など、大きく変化している社会経済情勢の変化に対応するため、都市計画区域マスタープランをはじめとした都市計画の見直しを進めています。





広域都市計画マスタープランの位置付け



広域都市計画マスタープランの策定

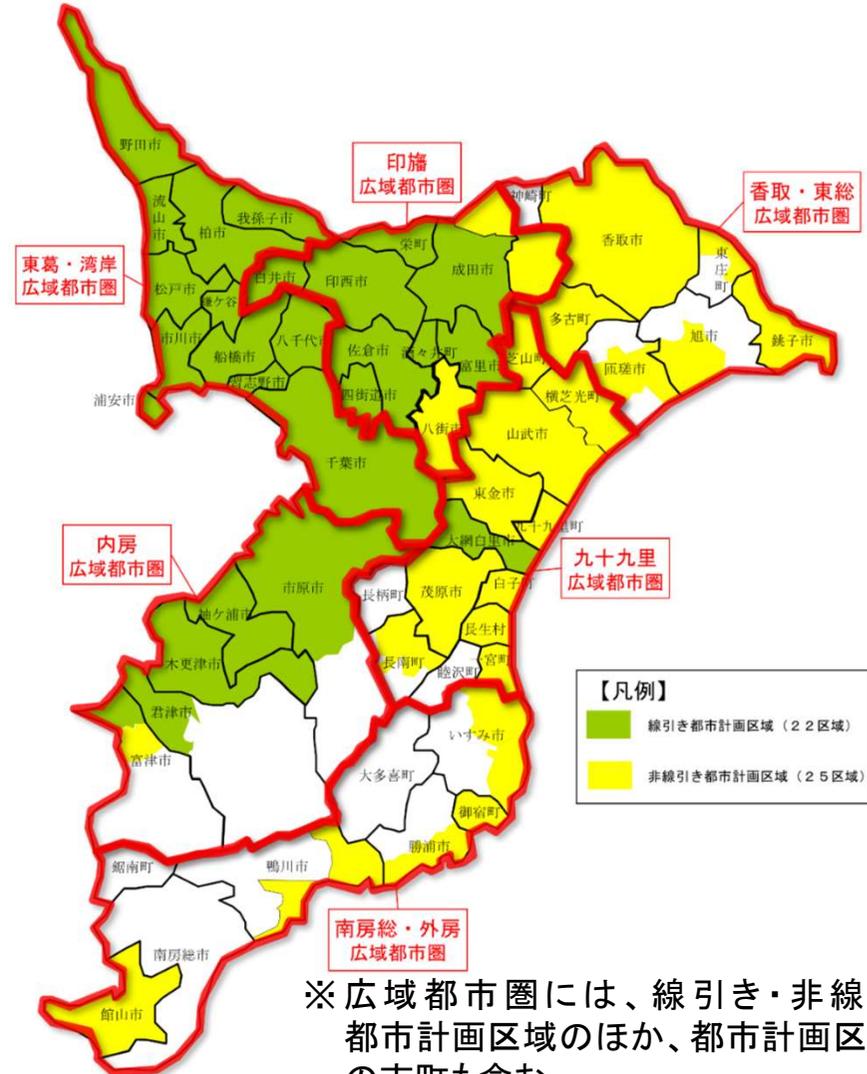
策定の背景・考え方

人口減少や広域幹線道路の整備進展、
県民の生活・経済圏の拡大、
自然災害の頻発化・激甚化 など、
県を取り巻く状況の変化に適切に対応
していくためには、広域的な視点に立って
都市計画を推進していくことが必要

都市計画区域を超えた広域的な枠組みと
して広域都市圏を設定し、広域都市圏毎
に「広域都市計画マスタープラン」を定め、
広域的な視点から、都市づくりの方向性
や方針を示すとともに、拠点やネットワ
ークを配置し、合理的な土地利用の規制・
誘導を図る

広域都市圏の設定

県総合計画を踏まえた「6 圏域」を設定





広域都市計画マスタープランの構成

広域都市計画マスタープラン

【広域パート】

〇〇広域都市圏の都市づくりの目標

【区域パート】

都市計画区域の整備、開発及び
保全の方針（線引き区域）

都市計画区域の整備、開発及び
保全の方針（非線引き区域）

県で原案作成

- 千葉県の都市づくりの基本理念
- 広域都市圏の都市計画の目標
- 区域区分の決定の有無
及び区域区分を定める際の方針
- 広域都市圏の主要な都市計画の
決定の方針

市で原案作成

- 都市計画区域毎の都市計画の目標
- 主要な都市計画の決定の方針
 - ・土地利用
 - ・都市施設の整備
 - ・市街地開発事業
 - ・自然的環境の整備又は保全

内房広域都市計画マスタープラン

内房広域都市圏の都市づくりの目標

市原都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

袖ヶ浦都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

木更津都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

君津都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

富津都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

大佐和都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

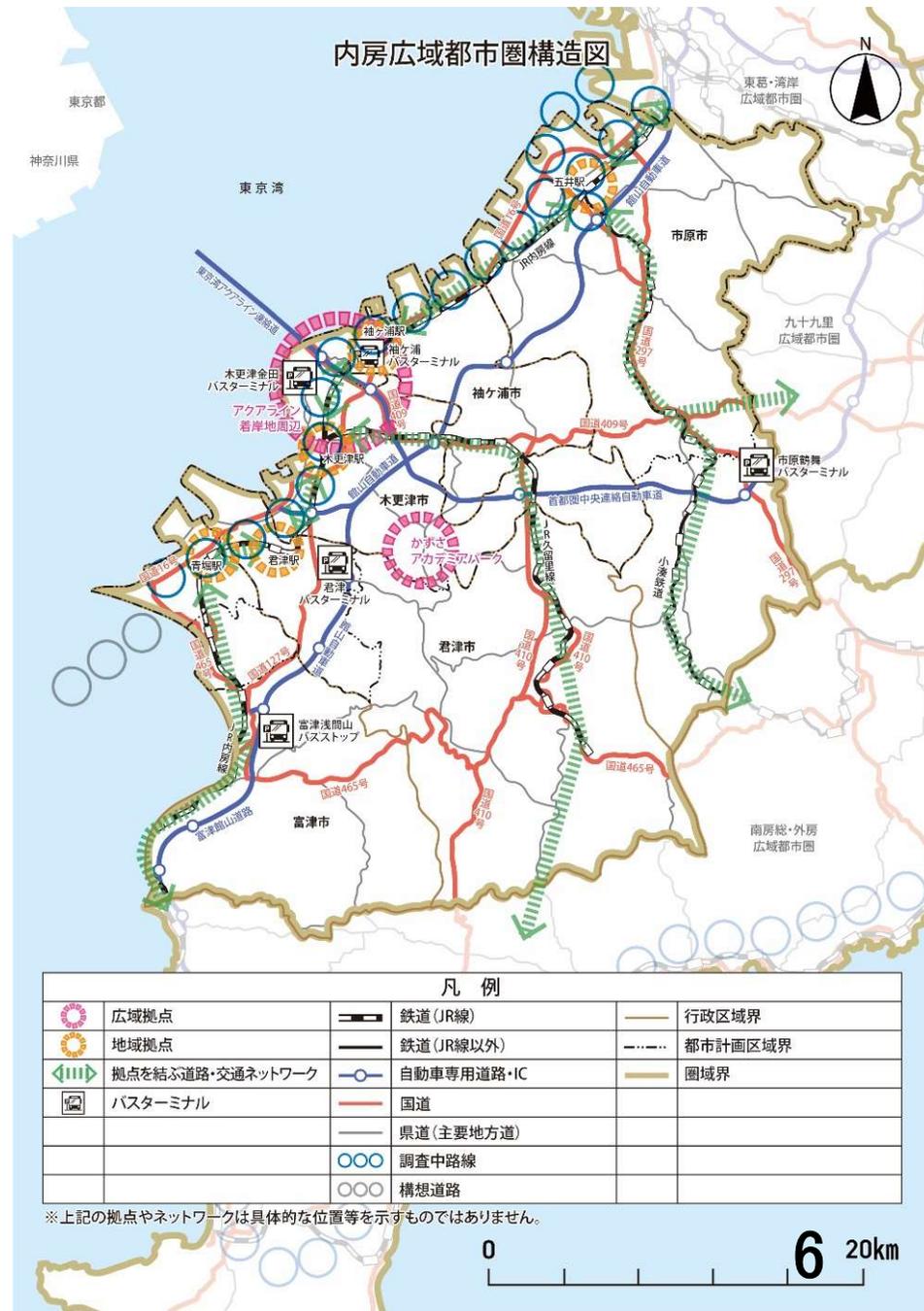
内房広域都市計画マスタープラン

コンパクトで効率的な都市構造への転換

- ☑ アクアライン着岸地周辺は拠点性の高さを生かし、本県の玄関にふさわしい都市づくりを推進
- ☑ 鉄道駅やバスターミナル周辺は、地域拠点として都市機能を集積
- ☑ 国県道や拠点間を結ぶ都市計画道路の整備を推進

頻発化・激甚化する自然災害への対応

- ☑ 富津館山道路の全線4車線化、新湾岸道路の計画の具体化など災害に強い道路ネットワークの整備を促進
- ☑ 流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」への転換を進め、安全な都市づくりを推進



内房広域都市計画マスタープラン

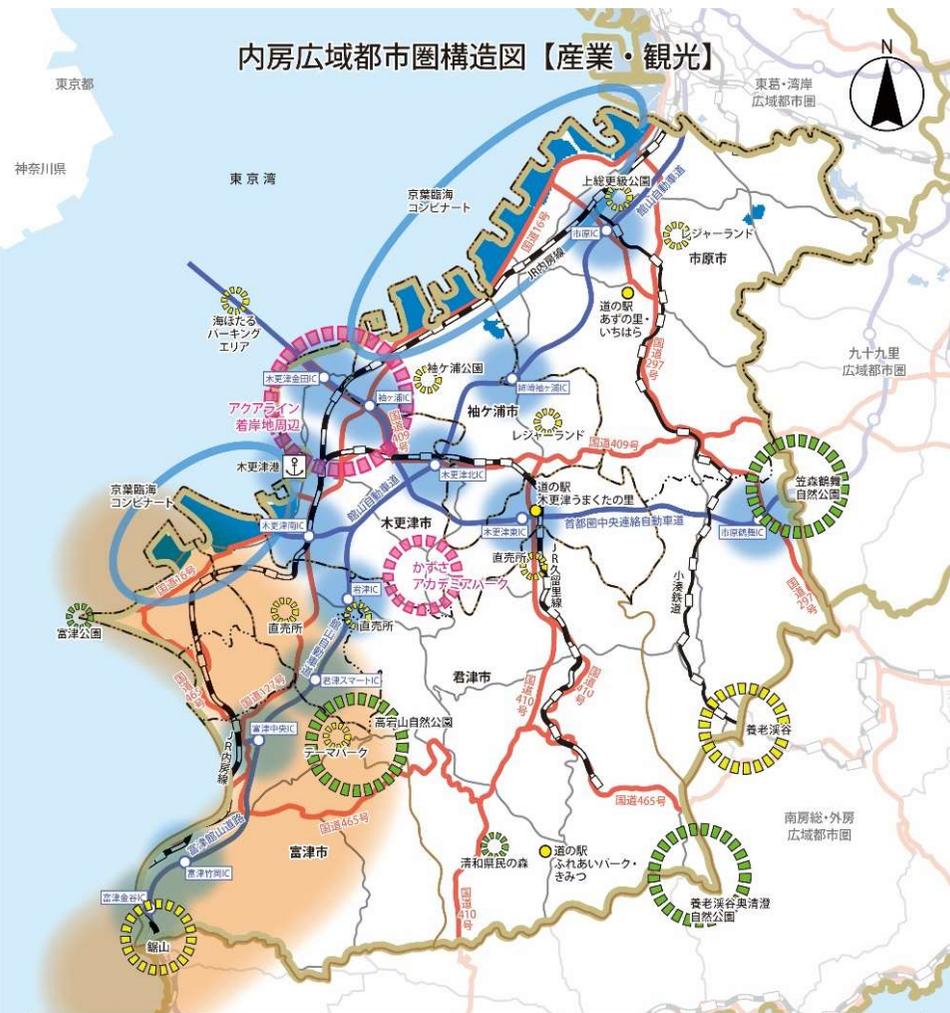
社会インフラ等を活用した多様な産業の受け皿の創出による地域振興

- ☑ アクアライン着岸地・かずさアカデミアパーク周辺等は、拠点性の高さを生かし産業拠点形成
- ☑ インターチェンジ周辺や幹線道路沿線等に新たな産業集積を推進
- ☑ 房総有数の温泉郷である養老溪谷をはじめ、富津公園、鋸山、道の駅等の観光資源を生かしたまちづくりを推進

自然的環境の保全と質の高い生活環境の整備

- ☑ 房総丘陵の山林、養老川沿川や東京湾の干潟等については、都市部のゆとりを与える資源として保全・活用
- ☑ グリーンインフラの取組を進めるため、緑地の保全、都市公園の整備等を推進
- ☑ ライフスタイルの変化への対応や都市のウェルビーイング向上のため、魅力的な空間を形成

内房広域都市圏構造図【産業・観光】



凡例			
	産業立地誘導を図るゾーン		国際拠点港湾・重要港湾
	観光誘導ゾーン		鉄道(JR線)
	主な観光地・観光資源		鉄道(JR線以外)
	県立都市公園・自然公園・県民の森		自動車専用道路・IC
	アクアライン着岸地・かずさアカデミアパーク周辺		国道
	道の駅		県道(主要地方道)
	工業エリア		
			行政区境界
			都市計画区域界
			圏域界

※上記のゾーンや地点は具体的な位置等を示すものではありません。